

2025年版採点規則 ヘルプデスク

2024年3月1日版

<団体>

Q1 「団体競技の徒手系難度は、5名全員が実施した場合に難度を採用する」と記載されておりますが、4名での団体の場合、徒手系難度の採用は0(ゼロ)となるという解釈でよろしいでしょうか。

A 4名の場合、徒手系難度はとれません

Q2 バランスや倒立で一人がふらついた場合は、難度認定されませんか？

A ふらついても2秒の静止が見られれば認定されます。

Q3 組運動の飛ばし技で転回系を行った場合は、その飛ばされた転回系の難度を採用するということですが、飛ばされた人が宙返りを含まないひねりを行った場合は評価されませんか？

A 難度はありませんが、評価はされます。

2025年版より基本的には組体操の難度を廃止しました。ただし組体操の評価は(A)審判でその内容を判定することになりました。難しさだけでなく、組合せの工夫があるものや複合的なものが高評価となります。

Q4 団体競技の競技者の登録は8名とありますが、出場選手5名に対して補欠が3名ということですか？

A 日本体操協会の大会では登録された8名はすべて選手扱いです。

登録人数は要項によって変更することがあります。また、高体連の大会と国民スポーツ大会はそれぞれ違う決まりがあります。大会要項をよく見て確認してください。

<個人>

Q1 クラブで1回目に背面投げ、2回目に前投げと背面投げを2本同時に投げた場合、2回目の背面投げの加点は取れますか？

A 取れません

投げ方が同じであれば、同じ技として扱います。1回目を背面で1本投げ、2回目に背面で2本投げをした場合も同様に取れません。

Q2 個人で1回目の投げを背面で投げ2回前転キャッチ、2回目の投げを前投げ2回前転キャッチをした場合は同じ技になりますか？

A 同じ技として扱います。

Q3 投げタンブリングの定義を教えてください。

A 投げてから受けるまでの間に転回を行ったもの、転回中に投げたもの、転回中に受けたものを投げタンブリングとして扱います。

Q4 ロープでの跳びを鹿の形で実施した場合形が変わったことになりますか？

A 別の形として扱います

体の形が変わるものの例として、かかえ込み、伸身、屈伸、片足曲げ(鹿)、

Q5 個人競技で宙返り1回半ひねり直接前宙(C-B=D)をしたあと、違う場面で宙返り1回半ひねり直接前宙ロンダートダイビング前宙をしようと思ったがロンダート(C-B+A)で終わってしまった場合、一回半前宙は難度として数えられますか？

A 認められます

同じ転回系かどうかは、転回の部分だけで判断します。質問にあった例では最後にロンダートで終わっているので、別のものになったと考えます。仮に最後のロンダートが側転になった場合は、その前の宙返り1回半ひねり直接前宙までになりますので、同じ技になります。

Q6 投げタンブリングは受けが成功しないと要素に数えられませんか？

A 落としても要素はカウントされます。

難度は受けが成功してカウント、要素はスティックの「左投げ左受け」「右投げ右受け」以外はチャレンジしたらカウントされます

Q7 例えば前宙前宙のように 1 つの転回で同じ技を繰り返した場合、2 回目の技は難度認定されますか？

A BB の転回で C 難度として認められます。

1 つのシリーズ単位で考えて、まったく同じ場合は難度認定しないということです。

Q8 個人の体の大きい 2 部位を経過する手具操作について、部位の分類を教えてください。

A 右手、左手、右足、左足、胴、頭(首含む)を指します。

Q9 P37 スティックの要求要素「③ 1.2 を含む転回系の投げ受け」とありますが、右投げ左受けをした場合はこれには該当しませんか？

A 該当します

Q10 転回系をA難度でつなぐ際に手具をまわさないと 0.1 減点とありますが、ドライブ(回さない)～ロンダート(回さない)～ダイビング前宙(回す)の場合、減点はどうなりますか？

A 0.2 です

基本的に宙返りでは操作をすることを前提にしています。ただし 1 回でも操作があれば減点されません。

Q11 転回中の操作で、1 回目を右手で回し、2 回目を左手で回した場合は 2 種類の操作になりますか？

A なりません

転回系の手具操作の種類は、回す、持ち替える、叩く、投げるなどの種類があります。回しの場合、右手の回しと左手の回しは同じ扱いになります。

手具操作の分類例

同じ分類	片手回し と 両手回し
	右手回し と 左手回し
	手具の中心を持って回すもの と 端を持って回すもの
	ロープの片手回し と ロープの中央を持って左右の手でそれぞれ回し
違う分類	片手で1本回し と 片手で2本回し (リングで2本がバラバラに回るものやクラブを1本状態にして回すもの)
	ロープの片手回し と 両手に持って跳びながら回すもの
	ロープの片手回し と ロープを1本状態にして8の字回し

Q12 手具を手以外に触れていれば、上肢以外の手具操作になりますか？

A 状況によります

上肢以外の操作は、上肢以外で手具の動きに変化を与えたものが対象になります。したがって静止している手具に触れるだけでは対象になりません。スティックの操作で、エンジェルなどは、操作の仕方や見える向きによっては、変化を与えているかどうかは明確でないものがあります。明らかに変化を与えていると見受けられるもののみ対象としてください。

Q13 上肢以外の操作を2回以上入れていれば減点されないということですが、同じ種類の操作でもよいのでしょうか？

A 同じ操作でも2回に数えられます。

Q14 手放し操作について、ロープでエシャップを2回続けて行う技で、1回目でロープの中央辺りをつかみ、すぐに離し2回目のエシャップをした場合、手放し操作の2回分に該当しますか？

A 該当します

Q15 体の大きい2部位を経過する手具操作について、3部位を経過する操作であれば1回入っていればよいですか？

A 2部位経過の場合2回、3部位経過の場合は1回で減点はなくなります。

この際の2部位または3部位は、繋がった異なる部位(Q8参照)を連続して経過するものとします。ただし右手⇄左手は対象外とします。

Q16 ロープを左右の手で両端を保持したから片方の端を放しただけで、手放し操作になりますか？

A なりません。

ロープの手放し操作は、両手が離れたものと、片手を放し場合では、エシャッペなどのようにそのロープに操作を加えたものだけです。操作をしているかどうか分かりにくいものは、手放し操作としては認定されません。

Q17 2 部位の操作と上肢以外の操作は兼ねることができますか。

A 兼ねてとることができます。

<その他、共通項目>

Q1 連続した転回で C→A→D は E ですが、C→A→A→D でも E になりますか？

A E 難度になります。

A 難度を複数回続けても A 難度扱いです。

Q2 現行の技ですでにジュニアでもE難度が行われています。今後F難度を設定する可能性はありますか？

A 状況に合わせて検討して行く予定です。

Q3 前宙や前方倒立回転はどこからがタンブリングの扱いになりますか？

A 宙返り系は蹴った後、倒立回転跳び系は重心を倒し回転が始まるところが転回になります。

ただし団体競技での転回の繋ぎは助走も転回系の一部として扱います

Q12 小さな大会で審判の人数がそろわない場合は、どのように編成すればよいですか？

A それぞれで行いやすい方法に変更してください。

従来の審判では、D と A を併せて見ていたので、十分可能かと考えていますが、難度の見落としはできないので、申告書を使用するか、動画で見直すなどの工夫が必要になると思います。どちらにしても、開催現場が最もやりやすい方法をとっていただきたいと思います。

2025 年ルール変更説明動画リンク

<https://x.gd/CfdME>

